

発言者	内容
司会（会長）	音楽（一般）の教科用図書について審議する。 教育出版についていかがか。
委員	曲のイメージをつかみやすくする工夫がみられる。
委員	和音や和声の内容を減らしていたりすることで、音楽が苦手な生徒にとってわかりやすい。
委員	鑑賞分野では資料がやや多く掲載されている。 写真やレイアウト、イラストに統一感がなく、やや見にくい。
司会（会長）	説明も音楽史の年表も見やすく、わかりやすい内容となっている。
司会（会長）	教育芸術社についていかがか。
委員	デジタルコンテンツが活用しやすい。また、創作分野では音楽アプリと連動し、授業で活用しやすい。
委員	全体的にレイアウトがわかりやすくまとめられており、わかりやすい。 著作権について1年の段階で掲載されている。
委員	「1年で8分の6拍子を習得させることはやや難しい。」とあるが、難しさがあることで、生徒の学ぶ意欲を高めることができるのではないか。
司会（会長）	「学びのコンパス」を活用し、生徒が主体的に考えを深め、問題の糸口をつかむ工夫など、探究的な学びにつながるやすい。音楽を形作っている要素の説明が充実している。やや専門的である。
司会（会長）	総括をする。
	以上のことから、教育芸術社を1番に、教育出版を2番に推薦する。